

くろつち便り

今月の内容

／野草折々83(ヤブチヨヅ)／Series学校現場から⑧我が母校に着任して／総会・交流会(6/20)／作品展／会費納入／ごてれつの独り言④小人は長えに戚戚たり／9条の会講演会&総会(7/5)／**次回の金曜集会是6/5日 17:00**



↑会報QRコード

6月くろつち会会費納入月間

以前6月を会費納入月間にしようと決めました。総会(6/20)の受付で納入してください。総会に出席できない方は、会費を各地域の手配り人に預けていただくか、ご自分で支部に持って行っていただくかしてください。支部は一人一人だと、事務作業が大変ら



しいので、できるだけまとめてもってきてほしいとのこと。但しご自分で持って行かれる場合は、平原さんが不在の場合もあるので、事前に連絡を取って下さい。

(支部TEL 43-2212)
会費は次の通りです。
退教協 千円、
くろつち会 千円
合計 **2000円**です。
(女性部は2800円です。)



6月20日は、くろつち会総会・交流会が計画されています。

会場 千成本店
受付 10時20分

詳細は別途プリントで。



コロナ禍で中断していた作品展を計画中です。

予定 11月6～10日
イオンかのや 3階

是非作品を温めておいてください。

9条の会講演会・総会

ここ数年、様々な要因で開催できていなかった「9条の会総会」が開催の運びとなりました。前段に講演会を持ちます。

期日 7月5日(日)受付13時
講演会 13時30分～15時

会場 リナシティー情報研修室
講師 小栗実(鹿大名誉教授)
仮題「高市政権の戦争する国づくりと私達の取り組み」

料金 無料
総会 15:20～16:20
高市政権は9条改悪の手始めに、1985年廃案のスパイ防止法

(国家秘密法)の制定を目論んでいます。これは戦前の治安維持法を彷彿させる法案で第2第3の大河原化工機事件(2020年)が起こるのは必至。

9条が危機を迎えています。共に学習しませんか。



子どもたちの名前すら覚えて、しかも37人のGグル・クロームというものに手こずって、しかも37人の

「我が母校」に着任した。通勤距離も通勤時間も最短なので勤務する環境は整った。しかし、やはり職場が変わると慣れないもので、慌ただしさにただただエネルギーが消耗していく。それでも本年度は5年生37人のパ

学校現場からシリーズ その38
高山小 関下俊郎
なぜか忙しい新年のスタート。44年間繰り返されてきたにも関わらずやっぱり落ち着かない。今年も、なんと



ワーを受け止めなければならぬ。(損取するアルコール量がいずれもより増えるのも仕方ない・・・)そして、相変わらずGグル・クロームというものに手こずって、しかも37人の子どもたちの名前すら覚えて、しかも37人の

「我が母校」に着任した。通勤距離も通勤時間も最短なので勤務する環境は整った。しかし、やはり職場が変わると慣れないもので、慌ただしさにただただエネルギーが消耗していく。それでも本年度は5年生37人のパ

「我が母校で...パート」
らなかなか覚えられず、母校に勤務とは言いほつと一息できない...かな。(実はあと1人で3クラスになるところだったようだ...)

さらには、波野小勤務のときの教え子がおじさんにあたる...とか、右も左も何かしらつながりがあるようで、まるで包囲網ができてしまった感じだ。緊張感漂う一年になりそうだ。そしてさらにもう一つ...
学校歓迎会があつ

「先輩！」と...。年度当初の職場協約交渉も行ったのだが、今のところ穏やかな方のような。今後「先輩の言うことが聞けませんか！」

た。歓迎会ではほつと一息できるだろうと思っていたが、別な意味で悩むことが出てきた。それは私のことを名前で呼ばず、「先輩！先輩！」と連呼する人物が一人。本年度中学校から転任してきた校長である。年が上というだけで「先輩！」としか呼ばない。酒の席ならまだ許せるところもあるのだが、現場でも所かまわず「先輩！」と...。





5/8金曜集会

1日はメーデーということで、一週ずらして8日の開催でした。

駐車場は屋台が建ち並んでいて、橋の上でのアピールです。開始暫くして、杖を手にした老婦が参加されました。森山多賀子という方で元市議(申良区)だっ

たようです。

集会後のミーティングでマ

イクを手にとられて「道行く運転手に声をかけたりしたら反応は様々でした。思っている行動に移さないとダメだというのは分かっていたけど、今回初めての参加でした。」と話されま



お悔やみ申し上げます

最近永眠された方々のご芳名です。(掲載の遅延をお詫び致します)
 中村義彦様 1月16日 100歳
 福岡三義様 2月5日 91歳
 謹んでご冥福をお祈り致します。

がっくさ言う人 44 せきせきの独り言

◆君子坦蕩蕩、小人長戚戚

共助会GG大会の開始前、大会入賞の常連Mさんが「くろつち便り掲載の加齢黄斑変性症、僕も現職時代に治療を経験した」と話しかけてきた。

1月号で眼底にある黄斑に異常を来す病気について触れた。TVでの高市報道を嫌って選局して偶然知った病気が加齢黄斑変性症だ。ネットで調べると男子に多く50才以上で80人に一人ぐらい。年齢が進むと多くなるらしい。だからくろつち会員の中には僕以外で後一人位はいる勘定になる。そのことを知っていたので、Mさんの話を聞いても驚きよりも「やはり」と思った。

しかし病院で見てもらった

ら、僕の場合は同じ黄斑異常でも「黄斑上膜」という病気だった。こちらは40才以上の何と20人に一人ぐらいだそうで、女性に多いらしい。

医師から手術の話が出た。しかも入院が伴うとなると都城まで往復3時間、何回も通うことになる。

僕みたいな小人は憂いが先に立った。論語に「小人は長えに戚戚たり」とあるが、戚戚というのは憂い恐れること(大辞泉)。まさしく長え(=永久なえ)に戚戚たり、心配事が消えないといったところだ。

何とか手術を避けたい面持ちで「先生、僕は今76才、せいぜい生きても後15年ぐらいだろうから、手術しないで様子を見ていくというのはどうでしょうか」と聞いた。

すると「15年もしたらぐしゃぐしゃになりますよ」と言われ、益々心配事が深まった。

選択肢は二つ。朝ドラ「ばけばけ」のモデル小泉八雲は少年時代の遊びの中で左目を失明したという。しかし黄斑上膜は視力は落ちるが、放置していても黄斑変性症と異なり失明までは至らないらしい。選択肢の一つはこのまま様子を見ること。八雲は左は完全失明だったからそれよりはずっといいかなと思ったりする。

二つ目は手術だ。入院に対する憂いが消えたらだが、君子は坦らかに蕩蕩たり(心安らかでゆったりした様子)という気分にはまだまだ遠い。

さて近いうちに眼科に行くのだが・・・(樋園)



野草折々-83-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

ヤブチヨロギ (シソ科)

ヨーロッパ原産の植物で、畑や道端に生える。高さ10cm～40cmの越年草。



2025年3月
 写真は川西町の荒地